

第7回 鳴瀬川等・北上川下流等大規模氾濫時の減災対策協議会 (北上川下流河川事務所)



- 昨年の台風19号では国直轄管理区間での堤防が決壊し、大規模な浸水被害が発生しました。その際の災害初動指揮の貴重な経験や減災につながった平時の備えなどの教訓を共有するため15市町村の首長らにご参加頂き、宮城県大郷町文化会館で令和2年6月29日に開催しました。
- 会議ではセミナーとして、被災した3自治体（大郷町・大崎市・松島町）の首長等から防災への備えや取り組み等について発表して頂きました。
- 東北大学災害科学国際研究所佐藤准教授から、避難行動意識、災害経験の共有化の重要性についての講演を頂きました。
- 各自治体から出水時の対応の意見交換について、主な意見は以下のとおりです。
 - ・ 批判をおそれず、早めの避難誘導に努める。
 - ・ 上流域でも気候変動による大雨で支川が水位急上昇する事を想定し、避難所を設定していく。
 - ・ 津波に対する住民の危機意識は高いので、河川氾濫についても意識醸成に努める。
 - ・ コロナ過でも避難に支障ないよう対応したい。

○ 災害を経験した市町村間の情報共有を図り、より一層防災への意識を深めると共に、治水協定締結、大規模氾濫に関わる分科会の取りまとめ状況、流域治水のプロジェクト動向について説明させて頂き、ご理解を得ました。



セミナー開催の様子

佐藤 翔輔 准教授

- ◇ 日時 : 令和2年6月29日(月) 13:30~15:30
- ◇ 場所 : 大郷町文化会館 1階ホール
- ◇ 出席者 : 計15自治体参加 (うち首長出席は9自治体)

【次第】

- ◆ セミナー
- ◆ 意見交換
- ◆ 情報提供



石巻市 亀山市長



東松島市 渥美市長



富谷市 若生市長



大和町 浅野町長



大郷町 田中町長



大衡村 萩原村長



色麻町 早坂町長



涌谷町 遠藤町長



美里町 相澤町長